

嶋野道弘先生のご講演より (2)

テーマ “やってみたい・やりたい”を伸ばす保育・教育
～自己発揮と子どもの育ち～ 「創造力・創造性」

自己発揮と子どもの育ち ⇒ 「創造力・創造性」に着眼したい
熱中・没頭している遊びや活動の中にすべて含まれている。



子どもの写真を見たり、クラスの子どもの思い出したりしながら、遊びや活動の創造性を考えてみよう。

創造力・創造性は

●生きる力の主要能力

感性、自発性、能動性、思考力、判断力、表現力、知識、技能、必要感などと結合して発揮される。



水の中でお風呂



おままごと



上履きのゴムをシートベルトに見立てて

●個性を作る教育に作用する

ものの見方、考え方、感じ方は一人一人違うことをふまえ、創造性を引き出し、創造的な活動を行い、創造の働きを学び、創造力を育てる。



どろんこ遊び



絵本の世界からお庭へ!



見つけた実とお話しています

●人間だれもが持っている資質・能力

人間は創造的に生きてきた。現在も生きて生活する誰もが創造的な日々を送っている。その見方で子どもの遊びや学びを見つめてみる。



自分たちで考えたクラスのレベルアップスター

●お話の中の事例より●

★公園探検で森に行った子どもたち。木々から差し込む光を見て発した言葉は「ここは光の国だ!」光の国と見立てる子どもの中に世界を楽しむ想像力、創造力がみえます。



木の上から見つけたのは「春のまち」

♥参加者の感想より

「子どもを見る」とは単に行動を観察することではなく、その行動の背景にある思いや興味・関心を理解しようとする姿勢が大切なのだと感じました。(幼)

子どもの世界を大切にしていこうと、子どもを信じて待つことを大事に、自分も子どもの世界に没頭できるくらい理解を深めていきたいと思います。(小)